

令和 4 年 6 月 13 日現在

機関番号：30103

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2017～2021

課題番号：17H02336

研究課題名(和文) アイヌ語現地調査資料の整理・分析および研究者アーカイブズの構築

研究課題名(英文) Reorganization and Analysis of Ainu Field Research Materials and Building Researcher Archives

研究代表者

奥田 統己 (OKUDA, Osami)

札幌学院大学・人文学部・教授

研究者番号：60224151

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 9,600,000円

研究成果の概要(和文)：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所が所蔵するアイヌ語現地調査の音声・映像資料のデジタル化を進めた。ノート・カード・草稿・写真ネガ・プリント類の内容確認を進め、一部の資料をデジタル化した。音声・映像資料と文書資料類、既刊の業績などとの関連性の分析を進め、音声・映像資料の来歴・系統を把握するとともに一部の音声・映像資料について記録の背景情報を特定した。話者の遺族と連絡を取り、資料の公開許諾の手続きを進めた。音声資料のうち合計約12時間30分について、文字化・日本語訳・註を付してWWW上で公開した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では、60年以上前からの現地調査によって記録され現在東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所が所蔵している、アイヌ語の音声・映像および筆記資料をデジタル保存し、調査・記録時の状況や資料相互の関係を把握し、文字化と訳註を与え、関係者の許諾を得て、研究期間中に約12時間30分の音声資料を公開することで、アイヌ語の研究、学習および復興運動のための基礎となる資料を保存し利用に供するとともに、将来のさらなる利用拡大のための基盤を整備した。

研究成果の概要(英文)：Digitized and preserved audio/video/photo materials and written documents of Ainu which are stored in the Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa, Tokyo University of Foreign Studies. Surveyed the relationship among those materials, documents, and published articles or dictionaries and specified the provenance, genealogy, and other background information of the materials. Consulted the relatives of the speakers and received their consent to the publication. Published on the WWW approximately twelve and half hours of audio materials with transcriptions, translations and notes.

研究分野：言語学・アイヌ語アイヌ文学

キーワード：アイヌ語 フィールド言語学 アーカイブズ

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

アイヌ語研究史の権威である故田村すゞ子早稲田大学名誉教授は、1950年代なかごろから亡くなる直前に至るまでの北海道各地での現地調査の資料を、筆記資料(フィールドノートなど)のみならず、研究活動を開始するころにちょうど普及し始めたテープレコーダーによる録音として、また1970年代からの先駆的なビデオ映像として、数多く遺している。田村氏は死去の1年前の2014年にこうした現地調査資料を東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)に寄贈しており、これを受けてAA研も、本研究計画の代表者である奥田と協力し、音声資料と文字化・訳のオンライン公開を2015年度から順次開始した。しかし資料の全体量は膨大であり、多岐にわたるアイヌ語方言の分析、保存に注意を要する資料の扱い、資料群としての構造の把握、公開の際の著作権・プライバシーへの配慮などの論点を解決しつつ、保存・整理・分析を進め、遺族・関係者との協議を経たうえで順次公開することが望まれていた。

### 2. 研究の目的

田村すゞ子氏が遺した、質量ともに史上最大級のアイヌ語調査資料、および資料の背景や研究の過程を示すノート・カード・草稿類を、デジタル化して保存し、現地調査資料には文字化と訳などを与え、ノート・草稿類には資料相互の関連などの分析・註解を加え、遺族・関係者とも協議・連携を進めて、可能な限りオンライン公開することで、言語学・史料学・歴史学・データベース工学および現地の連携によって現地調査と科学的成果の関係を跡づける研究者アーカイブズを構築し、今後のアイヌ語の研究・学習・継承活動あるいはフィールド人文科学への基礎的な資料・知見を提供する。

### 3. 研究の方法

音声・映像・写真資料をデジタル化して保存し、順次文字化・訳を進める。ノート・カード・草稿類などを、適切に選別しデジタル化する。音声・映像資料と文書資料類、既刊の業績などとの関連性の分析、遺族との協議や公開許諾の手続きを進める。フィールド言語資料としての標準化・公開のあり方を検討する。各年度に共同研究会を開催する。以上の成果をオンライン公開するとともに、各自の得た知見を発表する。また遺族・関係者との協議・協働により、可能なかぎり成果の現地還元を図る。

### 4. 研究成果

音声・映像・写真資料と文書資料類、既刊の業績などとの関連性の分析を進め、ほぼすべての音声・映像資料の記録の経緯と複製関係を整理・把握した。そのうえで保存措置が必要と判断した音声・映像資料ほぼすべて、合計約1,200時間をデジタル化した。ノート・写真プリント類

の内容確認を進め、合計約 9,000 コマのデジタル画像化を行った。

話者の遺族・関係者と順次連絡を取り、田村氏による調査の経緯、資料の性格、整理計画および公開方法などについて説明・協議したうえで、必要な許諾を得る作業を進めた。そのうえで、アイヌ語沙流方言・静内方言の音声資料合計約 12 時間 30 分ぶんを文字化・日本語訳および註を付し、A A 研情報資源利用研究センターのサーバーほか (<https://ainugo.aa-ken.jp/>、<http://ainugo.mond.jp/>) で公開した。

A A 研の共同利用・共同研究課題「アイヌ語現地調査資料のアーカイブズ構築にかんする学際的研究」「同(2)」と連携し、通算 7 回の研究会を開催して、現地調査資料の整理・保存・分析および公開の目的と方法について、およびオンライン画像・テキストデータベースの標準化について、検討を行った。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計17件（うち査読付論文 4件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 8件）

1. 著者名 奥田 統己	4. 巻 97
2. 論文標題 国立アイヌ民族博物館に期待するもの～博物館化と日本語直訳調のアイヌ語解説をどう克服するか～	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 北海道方言研究会報	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Yamakoshi, Yasuhiro	4. 巻 なし
2. 論文標題 Imagining the origin of Ikegami (1974): Some findings from Prof. Suzuko Tamura's archives at ILCAA	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『2020年韓国アルタイ学会全国学術大会発表論文集』	6. 最初と最後の頁 14-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川裕	4. 巻 862
2. 論文標題 ユカラとは？	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 図書	6. 最初と最後の頁 20-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川裕	4. 巻 863
2. 論文標題 誰と何のために戦っているのか？	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 図書	6. 最初と最後の頁 26-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川裕	4. 巻 864
2. 論文標題 レブンクルたちの目的	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 図書	6. 最初と最後の頁 33-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川裕	4. 巻 865
2. 論文標題 ヤウンクル連合登場	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 図書	6. 最初と最後の頁 34-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川裕	4. 巻 866
2. 論文標題 シヌタブカはどこにあったのか?	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 図書	6. 最初と最後の頁 42-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川裕	4. 巻 867
2. 論文標題 虎杖丸の謎 (その一)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 図書	6. 最初と最後の頁 46-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川裕	4. 巻 340
2. 論文標題 アイヌの世界観を多くの人に伝えていきたい	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アイユ	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川裕	4. 巻 21
2. 論文標題 アイヌ口承文芸テキスト集18 白沢ナベ口述 カムイユカラ ソレイパソレ：和人の若殿の物語	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 千葉大学 ユーラシア言語文化論集	6. 最初と最後の頁 155-173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 奥田統己	4. 巻 96
2. 論文標題 「ウボボイ」の構造と意味：「共生」の象徴にふさわしいか	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 北海道方言研究会報	6. 最初と最後の頁 14-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 奥田統己	4. 巻 19
2. 論文標題 キーステン・レフシン資料の受け入れについて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 森のちゃれんがニュース	6. 最初と最後の頁 7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 奥田 統己	4. 巻 4
2. 論文標題 “地鎮祭”のアイヌ語 呼称および祈詞の事例について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究紀要	6. 最初と最後の頁 61-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 奥田 統己	4. 巻 4
2. 論文標題 千歳地方の神謡の韻律的志向性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究紀要	6. 最初と最後の頁 73-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中川 裕	4. 巻 20
2. 論文標題 「アイヌ口承文芸テキスト集17 白沢ナベ口述 カムイユカラ アテヤテンナ：六つ首の狐」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『千葉大学 ユーラシア言語文化論集』	6. 最初と最後の頁 309-322
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中川 裕	4. 巻 8
2. 論文標題 アイヌの言葉と世界観	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 一個人	6. 最初と最後の頁 64-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 奥田 統己	4. 巻 7
2. 論文標題 AIによるアイヌ語の自動処理 実現したこと、期待されること、やるべきでないこと	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究紀要	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計11件 (うち招待講演 1件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 奥田統己
2. 発表標題 国立アイヌ民族博物館に期待するもの 博物館化と日本語直訳調のアイヌ語解説をどう克服するか
3. 学会等名 北海道方言研究会第229回例会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 奥田統己
2. 発表標題 AIによるアイヌ語の自動処理 - できたこと、やりたいこと、やるべきでないこと
3. 学会等名 第108回札幌学院大学言語学談話会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山越康裕
2. 発表標題 Excelデータを辞書っぽく
3. 学会等名 リンディフォーラム：ウェビナーシリーズ (1)
4. 発表年 2020年



1. 発表者名 山越康裕
2. 発表標題 ツングース諸語の4分類はいつから構想されていたのか AA研所蔵田村資料から見える池上二良先生の分析の記録
3. 学会等名 日本北方言語学会第3回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yamakoshi, Yasuhiro
2. 発表標題 Imagining the origin of Ikegami (1974): Some findings from Prof. Suzuko Tamura's archives at ILCAA
3. 学会等名 2020年韓国アルタイ学会全国学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Osami Okuda, Yasuhiro Yamakoshi, Miki Kobayashi and Mika Fukazawa
2. 発表標題 Online audio materials of the Ainu language collected in the latter half of the twentieth century: For future generations of Ainu and the research community
3. 学会等名 The International Year of Indigenous Languages 2019: Perspectives
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamakoshi, Yasuhiro
2. 発表標題 Two attempts to secure the future of Ainu: Online Ainu materials and descriptions in Ainu (Panel)
3. 学会等名 The International Year of Indigenous Languages 2019: Perspectives
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 奥田 統己
2. 発表標題 「ウボボイ」の構造と意味：「共生」の象徴にふさわしいか
3. 学会等名 北海道方言研究会第226回例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 奥田 統己
2. 発表標題 千歳地方の神謡の韻律：アイヌ語における アクセント志向の韻律の地域的広がり
3. 学会等名 日本北方言語学会第1回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 奥田 統己
2. 発表標題 アイヌ語の韻律：周辺諸民族との歴史的関係を見通して
3. 学会等名 第3回叙事詩研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 奥田 統己、小林 美紀、深澤 美香
2. 発表標題 アイヌ語音声資料公開
3. 学会等名 情報資源利用研究センター（IRC）設立20周年記念シンポジウム「人文知の資源化とアーカイビング 情報を育て、活かす」（招待講演）
4. 発表年 2017年

## 〔図書〕 計3件

1. 著者名 中川裕	4. 発行年 2020年
2. 出版社 平凡社	5. 総ページ数 293
3. 書名 改訂版 アイヌの物語世界	

1. 著者名 池田忍、五十嵐聡美、貝沢徹、小笠原小夜、吉原秀喜、高橋桂、山崎明子、中川裕	4. 発行年 2020年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 292
3. 書名 問いかけるアイヌ・アート	

1. 著者名 金田一京助・荒木田家寿（中川裕：「解説」を執筆）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 角川書店	5. 総ページ数 288
3. 書名 アイヌ童話集	

## 〔産業財産権〕

## 〔その他〕

AA研アイヌ語資料公開プロジェクト  
<http://ainugo.aa-ken.jp/>  
AA研アイヌ語資料公開プロジェクト(全文検索サイト)  
<http://ainugo.mond.jp/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	山越 康裕  (YAMAKOSHI Yasuhiro)  (70453248)	東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・准教授    (12603)	
研究 分 担 者	中川 裕  (NAKAGAWA Hiroshi)  (50172276)	千葉大学・大学院人文科学研究院・教授    (12501)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関